

# 決算審査特別委員会の設置

平成28年度白河市一般会計及び国民健康保険など13の特別会計の歳入歳出決算を審査する決算審査特別委員会が9月定例会において設置され、委員は12名、審査は10月16日から20日に行われました。

◎佐久間 進 ○大花 務 根本 建一 岩崎 洋一 佐藤 正則 阿部 克弘 室井 伸一  
 深谷 博歩 佐川 京子 深谷 政男 須藤 博之 藤田 久男 (◎委員長、○副委員長)

# 議員定数検討特別委員会の設置

平成29年3月定例会において、白河市議会議員のあり方を検討する特別委員会から議員定数について現状維持と削減の両論の意見が報告されました。

これを受け、本市議会として、改めて議員定数に関する基本的な方針をまとめるため、9月定例会において、議員定数に関する調査研究を行うことを目的に、平成30年3月31日までの間、議員定数検討特別委員会が設置されました。

◎筒井 孝充 ○阿部 克弘 岩崎 洋一 室井 伸一 北野 唯道 菅原 修一 水野谷正則  
 大花 務 縄田 角郎 石名 国光 玉川 里子 深谷 弘 (◎委員長、○副委員長)

# 請願・陳情・意見書

■今定例会において審査された議員提出議案、請願、陳情について、その内容と結果についてお知らせいたします。

## 議員提出議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
決議案第1号	白河市議会議員定数検討特別委員会設置に関する決議 議員定数に関する調査研究を行うため、本特別委員会を設置。	原案可決(賛成多数)

## 請願議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
請願第4 請願者 福島県教職員組合西白河支部長	特別支援学校の設置基準の策定、及び、特別支援学級の学級編制基準の改善を求める請願 1. 特別支援学校の設置基準を策定すること。 2. 特別支援学級の学級編制基準を改善し、1学級6名とすること。	<反対意見>特別支援学校に通学する児童生徒は、3校の支援学校に在籍しているが、県では今後の増加に対応するため、本年4月より新たに2校が新設され、支援体制の充実が図られている。 賛成少数をもって不採択となりました。
請願第5 請願者 福島県教職員組合西白河支部長	「国の責任による35人以下学級の前進」を求める請願 1. 国の責任で小学校3年生以降の35人以下学級を計画的に前進させること。 2. 国は35人以下学級実現のため、標準法を改正して教職員定数改善計画を立てること。	<反対意見>福島県の現状は、小学1・2年生、中学1年生については30人学級を行っている。小学3年生から6年生、中学2・3年生については、30人程度で34人学級になった場合は、教師が1人加配されることになっている。 賛成少数をもって不採択となりました。
請願第7 請願者 福島県教職員組合西白河支部長	国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める請願 1. 国は、教育予算を増やして「高等学校等就学支援金」への所得制限をやめて「高校無償化」を復活すること。 2. 国は、教育予算を増やして「高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)」を拡充して高校生に対する給付制奨学金制度を確立すること。	<反対意見>高校授業料の有償については、市町村民税所得割額が30万4,200円以上(目安年収910万円以上)の世帯に限定され、それ以外の世帯の生徒に対しては、国公私立問わず、国において月額9,900円を基本額に家庭の経済状況に応じて就学支援金が支給されている。 賛成少数をもって不採択となりました。
請願第8 請願者 福島県南農民組合	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる意見書 農業者戸別所得補償制度を復活させること。	継続審査

## 陳情議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
陳情第2 陳情者 新日本婦人の会白河支部長	「消費税10%への増税中止を求める意見書」提出を求める陳情 消費税10%への引き上げ反対の陳情を採択し、政府に意見書を提出すること。	継続審査
陳情第3 陳情者 新日本婦人の会白河支部長	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択についての陳情 日本政府がすみやかに禁止条約に調印することを求める意見書を提出すること。	継続審査